

平成31年 2月

山口幸子 学位論文審査要旨

主 査 谷 口 晋 一
副主査 難 波 栄 二
同 久 留 一 郎

主論文

The roles of IL-17C in T cell-dependent and -independent inflammatory diseases
(T細胞依存性および非依存性の炎症性疾患におけるIL-17Cの役割)

(著者：山口幸子、南部あや、沼田貴史、吉崎隆道、成島聖子、志村絵理、平石尚久、
新江賢、森田英明、松本健治、久留一郎、須藤カツ子、中江進)

平成30年 Scientific Reports DOI : 10.1038/s41598-018-34054-x

参考論文

1. Carvedilol suppresses apoptosis and ion channel remodelling of HL-1 cardiac myocytes expressing E334K cMyBPC

(カルベジロールはE334K変異型ミオシン結合タンパク質Cを発現するHL-1心筋細胞においてアポトーシス及びイオンチャネルのリモデリングを抑制する)

(著者：遠藤涼、Udin Bahrudin、野津智美、丹野翔伍、大野原岳史、山口幸子、
池田信人、Budhi Surastri、中山祐二、二宮治明、白吉安昭、稲垣喜三、
山本一博、吉田明雄、久留一郎)

平成28年 Drug Research 66巻 126頁～129頁

審査結果の要旨

Interleukin 17C (IL-17C) は、マウスの研究によりイミキモド誘導乾癬様皮膚炎やデキストラン硫酸ナトリウム誘導急性大腸炎といった炎症性疾患の発症に関与することがわかっている。しかしながら、他の炎症性疾患におけるIL-17Cの役割はあまり理解されていない。本研究の目的は、*Il17c*遺伝子欠損(*Il17c*^{-/-})マウスを作成し、このマウスにIL-17Cの関与が不明な炎症性疾患を誘導し、その疾患の病態形成におけるIL-17Cの関与及び機能を明らかにすることであった。その結果、IL-17Cは敗血症の誘導に重要であることが明らかになった。本論文は感染防御に関わるIL-17Cの可能性を示し、免疫学における学術水準を明らかに高めたものと認める。